



リリースノート

Setup and administration

NetApp
February 02, 2026

目次

リリースノート	1
NetApp Workload Factory 管理機能の新機能	1
2026年2月1日	1
2026年1月4日	2
2025年11月27日	2
2025年10月6日	2
2025年10月5日	2
2025年9月9日	2
2025年6月29日	3
2025年5月4日	3
2025年3月30日	3
2025年2月2日	4
2025年1月22日	4
2025年1月5日	4
2024年11月11日	4
2024年9月1日	5
2024年8月4日	6
2024年7月7日	6

リリースノート

NetApp Workload Factory 管理機能の新機能

Workload Factory 管理機能の新機能（クラウド プロバイダーの資格情報、Codebox の機能強化など）について説明します。

2026年2月1日

適切に設計されたアップデート

NetApp Workload Factory には、Elastic VMware Service (EVS) ワークロード向けの Well-Architected 評価が含まれており、ストレージおよびデータベース ワークロードの新しい構成が追加されています。

- **VMware** ワークロード NetApp Workload Factory は、適切に設計された Amazon Elastic VMware Service (EVS) ワークロードを運用するためのベストプラクティスと推奨事項を提供します。

["適切に設計されたEVS構成を実装する"](#)

- ストレージワークロード ストレージワークロードのWell-Architected機能にいくつかの新しい構成が追加され、ストレージのパフォーマンスとコストをより深く理解できるようになりました。
 - Storage VM論理レポート
 - キャッシュボリュームのサイズを最適化する
 - 孤立したブロックデバイス

["Storage ワークロードに適したファイルシステム構成を実装する"](#)

- データベース ワークロード Workload Factory for Databases には、Direct NFS (dNFS) を有効にして設定し、I/O パフォーマンスを向上させ、ホストとストレージ システムの負荷を軽減するための、Oracle の新しいストレージ構成が含まれています。
 - dNFSの有効化
 - dNFS 一貫性のある IP 解決
 - dNFS設定ファイル
 - dNFS nosharecache

["適切に設計されたデータベースワークロードを実装する"](#)

Storage の新しい権限

S3 アクセスポイントの管理を強化するために、Storage ワークロードに新しい権限が追加されました。

["アクセス権参照変更ログ"](#)

2026年1月4日

Ask me AIアシスタントのホームページ統合

Workload Factory コンソールのホームページには Ask me AI アシスタントが組み込まれており、独自のストレージ資産について質問したり、環境から直接パーソナライズされた分析情報を取得したり、以前の会話を参照したりすることができます。コンソールを離れることなく、「Ask me」と対話してワークロードを理解し、問題をトラブルシューティングし、Workload Factory について詳しく知ることができます。

2025年11月27日

ストレージの権限の更新

FSx for ONTAP EMS イベント アナライザーは、*operations and remediation* 権限ポリシーの次の Amazon Bedrock 権限を使用して、ストレージ ワークロードのイベント データを取得します。

- `bedrock:ListInferenceProfiles`
- `bedrock:GetInferenceProfile`
- `bedrock:InvokeModelWithResponseStream`
- `bedrock:InvokeModel`

["アクセス権参照変更ログ"](#)

2025年10月6日

BlueXP workload factoryがNetAppワークロードファクトリーに

BlueXP は、データ インフラストラクチャの管理における役割をより適切に反映するために、名前が変更され、再設計されました。その結果、BlueXP workload factoryの名前がNetAppワークロード ファクトリーに変更されました。

MCP との Ask Me 統合

Workload Factory の AI アシスタントである Ask Me は、Model Context Protocol (MCP) と統合されています。MCP を使用することで、Ask Me は外部環境と安全にインターフェイスし、API ツールにクエリを実行して、特定のストレージ環境に合わせた応答を提供します。

2025年10月5日

ストレージの新しい通知

NetApp Workload Factory 通知サービスには、ストレージの Well-Architected の問題に関する通知が含まれています。

["NetApp Workload Factory の通知"](#)

2025年9月9日

ストレージの新しい通知

BlueXP workload factory通知サービスには、ストレージの自動容量管理に関する通知が含まれています。

["BlueXP workload factoryの通知"](#)

2025年6月29日

データベースの権限の更新

データベースの読み取り専用モードで次の権限が利用できるようになりました。

cloudwatch:GetMetricData。

["アクセス権参照変更ログ"](#)

BlueXPワークロードファクトリー通知サービスのサポート

BlueXP ワークロードファクトリー通知サービスを使用すると、ワークロードファクトリーは BlueXP アラートサービスまたは Amazon SNS トピックに通知を送信できます。BlueXPアラートに送信された通知は、BlueXP アラートパネルに表示されます。ワークロードファクトリーが Amazon SNS トピックに通知を発行すると、トピックのサブスクライバー（ユーザーや他のアプリケーションなど）は、トピックに設定されたエンドポイント（E メールや SMS メッセージなど）で通知を受け取ります。

["BlueXPワークロードファクトリー通知を構成する"](#)

2025年5月4日

CloudShellオートコンプリートのサポート

BlueXP ワークロードファクトリーCloudShellを使用している場合は、コマンドの入力を開始してTabキーを押すと、使用可能なオプションが表示されます。複数の候補が存在する場合は、CLIに候補のリストが表示されます。この機能は、エラーを最小限に抑え、コマンド実行を高速化することで、生産性を向上させます。

権限に関する用語を更新

ワークロードファクトリーのユーザーインターフェースとドキュメントでは、読み取り権限を示すために「読み取り専用」を使用し、自動化権限を示すために「読み取り/書き込み」を使用するようになりました。

2025年3月30日

ONTAP CLIコマンドについて、AIによって生成されたエラー応答がCloudShellで報告される

CloudShellを使用している場合、ONTAP CLIコマンドを発行してエラーが発生するたびに、失敗の説明、失敗の原因、詳細な解決策を含むAI生成のエラー応答を取得できます。

["CloudShellを使用"](#)

IAM : SimulatePermissionPolicy権限の更新

AWSアカウントのクレデンシャルを追加したり、生成AIワークロードなどの新しいワークロード機能を追加したりするときに、ワークロードファクトリーコンソールから権限を管理できるようになりました。

`iam:SimulatePrincipalPolicy` した。

["アクセス権参照変更ログ"](#)

2025年2月2日

BlueXP Workload Factory コンソールで **CloudShell** を使用可能

CloudShellは、BlueXP ワークロードファクトリコンソールのどこからでも使用できます。CloudShellを使用すると、BlueXP アカウントで提供したAWSとONTAPのクレデンシャルを使用して、シェルに似た環境でAWS CLIコマンドまたはONTAP CLIコマンドを実行できます。

["CloudShellを使用"](#)

データベースの権限の更新

データベースの `_read_mode` で次の権限を使用できるようになりました `iam:SimulatePrincipalPolicy`。

["アクセス権参照変更ログ"](#)

2025年1月22日

BlueXP ワークロードの工場出荷時の権限

ストレージ環境の検出から、ストレージ内のファイルシステムや生成AIワークロードのナレッジベースなどのAWSリソースの導入まで、BlueXP ワークロードファクトリでさまざまな処理を実行するために使用される権限を確認できるようになりました。ストレージ、データベース、VMware、生成AIの各ワークロードのIAMポリシーと権限を表示できます。

["BlueXP ワークロードの工場出荷時の権限"](#)

2025年1月5日

BlueXP Workload Factory でのサービスアカウントのサポート

BlueXP ワークロードファクトリでサービスアカウントがサポートされるようになりました。サービスアカウントを作成して、インフラの運用を自動化するマシンユーザとして機能させることができます。

["サービスアカウントを作成および管理します"](#)

2024年11月11日

BlueXP コンソールにワークロードを工場出荷時に統合

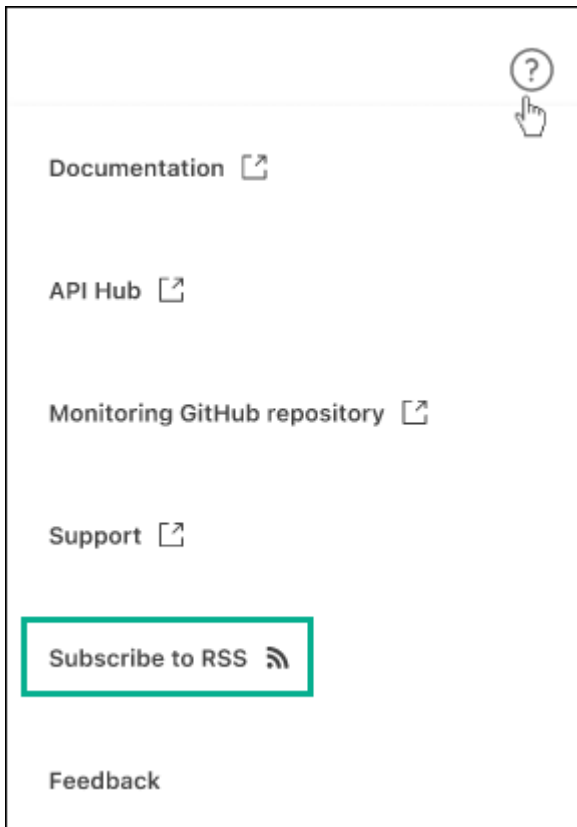
これで、からワークロードファクトリを使用できるようになり **"BlueXPコンソール"** ます。BlueXP コンソールエクスペリエンスは、ワークロードファクトリコンソールと同じ機能を提供します。

["BlueXP コンソールからワークロードファクトリにアクセスする方法"](#)

2024年9月1日

RSSサブスクリプション

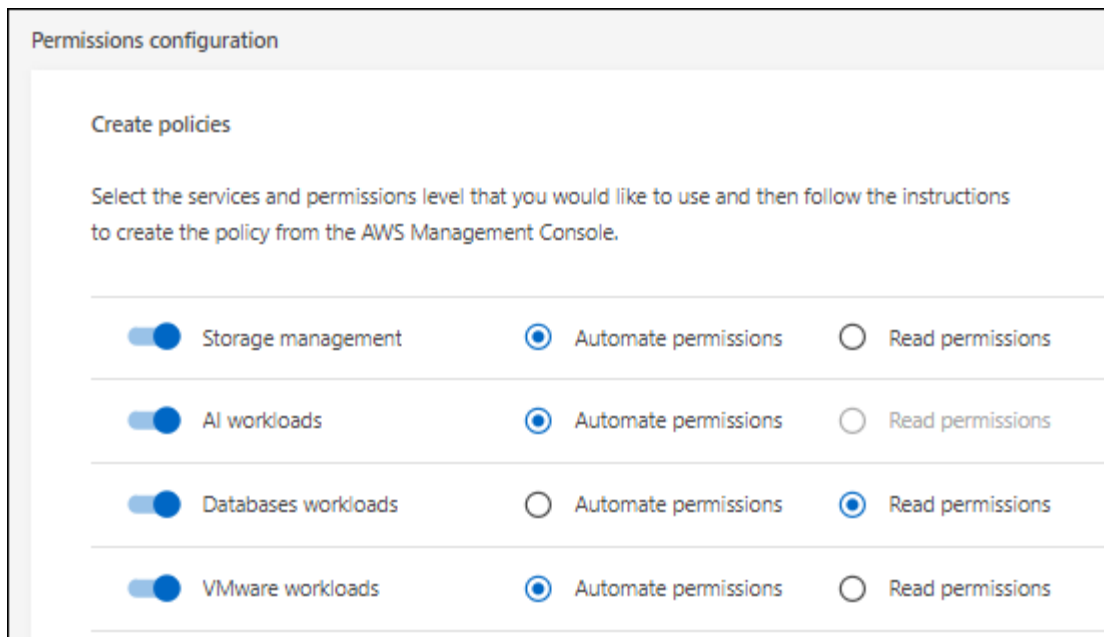
RSSサブスクリプションは、から利用でき["ワークロードファクトリコンソール"](#)ます。RSSフィードを使用すると、BlueXP ワークロードファクトリの変化を簡単に把握して把握できます。



ドリップダウンメニューのスクリーンショットRSSを購読するための新しいボタンがドリップダウンメニューにオプションとして表示されます。"]

ワークロードごとに1つの権限ポリシーをサポート

ワークロード工場でAWSクレデンシャルを追加する際に、ワークロードとストレージ管理ごとに読み取りモードまたは自動モードのいずれか1つの権限ポリシーを選択できるようになりました。



ページの権限設定セクションのスクリーンショット。ストレージ管理、AIワークロード、データベースワークロード、VMwareワークロードの権限ポリシーの読み取りまたは自動化を選択できます。"]

["ワークロードファクトリへのAWSクレデンシャルの追加"](#)

2024年8月4日

Terraformのサポート

Terraformは、Amazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムの導入とStorage VMの作成で利用できます。セットアップガイドと管理ガイドに、CodeboxからTerraformを使用する方法が記載されました。

["コードボックスからTerraformを使用"](#)

2024年7月7日

BlueXP Workload Factoryの初回リリース

BlueXP Workload Factoryは、Amazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムを使用してワークロードを最適化するために設計された、強力なライフサイクル管理プラットフォームです。ワークロードファクトリとFSx for ONTAPを使用して合理化できるワークロードには、データベース、VMware Cloud on AWSへのVMwareの移行、AIチャットボットなどがあります。

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。